



OSAKA SEMBA ROTARY CLUB JAPAN

W E E K L Y R E P O R T

設立 昭和63年(1988)5月23日
 事務所 〒542-0086 大阪市中央区西心斎橋1-7-3 大丸北炭屋町ビル6階
 TEL.(06)6244-1008 FAX.(06)6244-1010
 WEB. http://sembarotary.club E-mail: semba@cocoa.ocn.ne.jp
 例会 毎週月曜日・12時30分・ホテル日航大阪 Tel.(06)6244-1111
 会長 宮原 彰 幹事 岩崎 寿英 会報広報委員長 中西 弘明

四つのテスト／言行はこれに照してから Ⅰ. 真実かどうか Ⅱ. みんなに公平か Ⅲ. 好意と友情を深めるか Ⅳ. みんなの為になるかどうか

第1456回 例会 2022年(令和4年)5月30日

(青少年奉仕月間)

本日のプログラム

(本日のプログレス 平山 明彦 SAA)

- ロ-タリ-ソング 「奉仕の理想」
- 会長の時間 ○ 幹事報告 ○ 委員会報告 ○ ニュニコ箱報告 ○ 出席報告
- 創立34周年記念例会 32階「スカイテラス」17:00～17:50
- 会員懇親会 32階「スカイテラス」18:00～20:00
- 次年度役員会 31階「カトレア」16:00～

前回(5月23日)例会記録

◇プログレス 清水 清一 副SAA

1. 来客紹介 坂本 田鶴子 親睦委員

ゲスト:1名 地区外:0名 地区内:0名 合計:1名

ゲスト:大阪YMCA国際専門学校 学科長 古谷 佳之 様

2. 会長の時間 宮原 彰 会長



最近、カタカナ言葉の氾濫が気になる。日本語の良さが失われて行くようだ。
 サステイナブル、(持続可能性)は、許容できてもレジリエンス(復元力)は、日本語ではダメなのか。
 新型コロナ関連より、クラスター(集団感染)、ロックダウン(都市封鎖) オーバーシュート(爆発的感染) いずれも、事態を深刻化させたくない意図があるのではと勘ぐりたくなる。
 ちなみに、インフルエンサーは インフルエンザ感染者ではなく今、使われているのは「社会に大きな影響を与える人物」のこと、その様な人物の発信する情報を企業が活用して宣伝することを、インフルエンサー・マーケティングと呼ばれている。

言葉は時代の空気を映し出すにしても、問題の深刻さや、本質を覆いかす呼称には違和感を感じる。
 例えば、「ヤングケアラー」日常的に家族の世話や介護をする未成年。学習機会や子供らしく無邪気に過ごせるはずだった

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

SERVE TO CHANGE LIVES

時間を奪われている。端的に言えば、貧困家庭のため、学校にも行けず、家族の世話をする子供達。厳しい実情に社会の目が向けられることには意義がある。だとしても、その呼称はあまりにも軽くはないか。こうした中、東京都が「育児休業」のイメージを一新する愛称を募集。「休み」と捉えるのではなく、「社会の宝を育む貴重な期間」と捉えようとする問題意識は理解できる。単に耳障りだけでなく核心を突いたネーミングの誕生を期待する。ありがとうございました。

4. 新入会員入会式



本日より入会された大島弥生会員に宮原会長よりエンブレムが授与されました。

5. ニコニコ報告 中西 弘明 親睦委員

洪 会員・・・本日青少年フォーラムです。よろしくお願ひ致します。

大嶋 会員・・・本日の職場見学楽しみにして居ります。

北野 会員・・・本日大島弥生様が入会されます。皆様宜しくお願ひします。

澤田 会員・・・大島さん、今日からピカピカのロータリアンです。皆さんと仲良く楽しい活動をしていきましょう!!

岩崎 会員・・・本日大島弥生様入会です。ありがとうございました。

宮原 会員・・・お蔭様で八代南RCとの竹濑小学校での花育(はなうえ)活動を終えることができました。

皆様のご協力ありがとうございました。

岡本(真)、小島、片岡、岡本(茂)、中井、平山、俣野、井澤、沖、竹内、中嶋、原山、中村、坂本、清水、新川、小山、山川、天野、野田、吉本、林、岡野、篠藤、中西、

各会員・・・大相撲横綱照ノ富士 3場所ぶり7度目の優勝

6. 出席報告 清水 清一 副SAA

会員総数 38名 出席率計算会員数 37名 出席会員数 34名(内 ZOOM0名参加) 出席率 89%

第1453回(4月25日) 修正出席率 97%

7. 青少年奉仕フォーラム 「コロナ禍における留学生の今」

大阪 YMCA 専門学校 学科長 古谷 佳之 様



私は、2020年に大阪YMCAに入職し、それ以前は約13年間、同じYMCAグループでありましたが、神戸YMCAの職員として働いておりました。大阪での働きは未だ日が浅いのですが、神戸時代にも多くのロータリーの方とは繋がりがありましたので、きっとこの中にも共通のお知り合いがおられるのではないかと思います。

船場ロータリークラブさんと本校との繋がりが25年以上あるということは、これまでの担当者から聞いておりますが、なにぶん日が浅いもので、当然ここにおられる皆様のほうがよく事情をご存じですので、これから色々なことをお教えいただければと思います、どうぞよろしくお願い致します。

私が着任した2020年はコロナの始まりの頃でしたので、この年は例年行っていた交流会は開催できませんでしたが、昨年は多くのメンバーの皆さまに本校へお越しいただき、学生向けのセミナーを開催下さり、私も同席させていただきました。学生にとってはなかなか聞く機会のないお話を聞いて貴重な体験となりました。ありがとうございました。それ以前も、その時世にあったテーマでお話を頂いたり、ディスカッションを通して交流を続けて頂いたり、学生にも大きな影響をお与えて下さり、心から感謝申し上げます。

さて、今回、青少年奉仕委員の洪さまから、「コロナ渦における留学生の悩みや苦勞、それに対する学校や行政、地域の援助等の関わり方」についてお話しいただけないかと言うことのお話を頂きましたので、当然お受けさせていただいた次第です。では、ここからは今申し上げたような内容についてお話をさせていただきます。

まず、本校の留学生についてお話する前に、コロナの影響を受けたこの2年間に、日本における留学生の状況がどう変化したのか、大きく捉えて頂き、その後本校の状況をお伝えしたいと思います。

その前に、そもそも、留学生という言葉、今更ではありますしご存じの皆さまも多いと思いますが、少しおさらいをしたいと思います。私たちが普段言葉として用いている留学、正式には「外国人留学生」と言います。

この、「外国人留学生」とは、「出入国管理及び難民認定法」別表第1に定める「留学」の在留資格により、我が国の大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）、我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設及び日本語教育機関において教育を受ける外国人学生を指します。

本校は、ここでいう「専修学校（専門課程）」でもあり、また、「我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設及び日本語教育機関」でもあります。

本校の設置学科については後ほど説明をいたします。

せっかくの機会ですので、外国人留学生の数や割合についてもご紹介いたします。

2008年に策定された「留学生30万人計画」以降、留学生を受け入れる日本語教育機関や大学が一気に増えたことで日本国内の留学生数は2019年に31万2千人となり、その目標が達成されました。本校も2018年、2019年は過去最高の在籍者数となりました。2020年2月、コロナの感染拡大に伴い、日本への入国制限が発令されたところから、海外から学生が全く入ってこない事態になりました。統計では2020年5月時点の国内留学生は前年度対比で約3万人減り、28万人となりました。最新の情報がまだ発表されていませんが、2021年にはきっと20万人程度になっているはずです。

今年3月から入国制限が順次緩和されたことで、ようやく待機していた学生が順次入国している状況です。

続いて、本校の状況についてお話させていただきます。

【大阪YMCA国際専門学校の状況】

◆学生の在籍状況

| 学科名 | 修学年限 | 主な目的 | 在籍数 |
|----------|------------|-------|-----|
| 国際ホテル学科 | 2年 | 就職、進学 | 37名 |
| 国際ビジネス学科 | 2年 | 就職、進学 | 63名 |
| 日本語学科 | 1年、1.5年、2年 | 進学等 | 83名 |

設置学科は、国際ホテル学科、国際ビジネス学科、そして日本語学科です。

日本語学科は専門学校や大学への進学を目指して、まずは日本へ来て初めに入学する日本語教育機関です。大阪YMCAは2つの日本語教育機関を持っており、もう一つは天王寺に校舎があります。

これまで皆様と関わりを持たせていただいていたのは、主に国際ホテル学科/国際ビジネス学科の学生です。この多くは、日本国内の日本語教育機関での学習を終え、本校に入学して来ています。

基本的には2年の学習期間を終え、ホテル学科の学生の多くは日本のホテルを始めとした企業への就職、もしくは大学へ進学をします。

ビジネス学科学生の多くも、日本での就職や大学進学を目指しています。

学生数については、このコロナ禍での入国制限が影響して、2018年、2019年のピーク時に比べますと、現在は約半数となっています。

◆主な出身国

国際ホテル学科/国際ビジネス学科

日本、ベトナム、中国（本土）、台湾、韓国、インドネシア、ロシア、タイ、コロンビア、イギリス、ミャンマー、モンゴル、ベラルーシ、ラオス、カンボジア、タジキスタン、ネパールで17の国と地域の学生が在籍しています。

日本語学科

中国（本土）、台湾、香港、澳門、マレーシア、韓国 基本的には漢字圏の学生です。

非漢字圏の学生は、先ほど触れましたもう一つの天王寺ある大阪YMCA学院という学校で受け入れています。

ここまで、日本国内留学生事情と本校の状況についてお話をさせていただきました。
続いて、本校留学生の生活とコロナ禍での影響についてお伝えいたします。まず、一般的な学生の生活についてです。学費は75万～85万円で、原則は親からの仕送りです。留学ビザで入国している学生が出来るアルバイト時間は1週間28時間と法律で定められており、長期休暇中に限り1週間40時間となっています。アルバイト収入は約8万円～10万円ほどで、家賃はピンからキリまでですが1人当たり25,000円くらいからです。

コロナ禍で受けた影響を挙げてみました。

日本で学ぶ留学生にとって、生活面で最も影響が大きかったのは、特にホテルや飲食関連でアルバイトをしていた学生の収入が減ったことです。また、母国の親の収入も減り、仕送りが滞ったケースも見られました。それにより、学費納入については我々も随分対応いたしました。年4回分納まで対応をしていますが、それでもぎりぎりの学生もいました。また、ルームシェアをしている学生間では、一時期、コロナの感染が連鎖し、アルバイトが出来ないケースも多くありました。一方、学習面では、そもそも留学時期を変更せざるを得なかったり、留学そのものを諦めざるを得なかったりするケースも当然ながらありました。外出や人と会うことが制限されたことで、授業以外の時間に日本語を使う時間が減り、日本語力が伸び悩んだり、課外活動が減り、留学生活そのものを楽しむ機会が減ったりしたことも事実です。このあたりのことが、学生の悩みや苦勞と挙げられます。そういった学生に対して、学校としては以下のような支援を行ってきました。

【これまでの主な学生への支援】主に生活面

- 2020年5月 YMCA 同盟から頂いたお米(1人5kg)を配布
- 2020年5月 ポケットWifi 無償貸与
- 2020年5月 貸与型奨学金制度実施(1人当たり5万円、返済は卒業時まで)
- 2020年8月 募金の一部でQUOカード(2,000円)分を購入し、配布
- 2020年11月 募金の一部で食料品(朝食用シリアル)を購入し配布
- 2020年11月 松尾台こども園・しろがねこども園から頂いた食料品を配布
- 2020年12月 NPO 法人から頂いた食料品(米、水など)を配布
- 2021年2月 松尾台こども園から頂いたカイロ(2,000個)を配布
- 2021年4月 企業様から頂いた食料品(米、ラーメン、豚汁など)を配布
- 2021年5月 貸与型奨学金制度実施(1人当たり5万円、返済は卒業時まで)

その後 断続的に頂いた資料を配布

また、行政からの支援は、住民登録をしているため、基本的には日本人と同じ支援を受けています。

前述の通り、NPO 法人様や企業様からも留学生に向けての支援お申し出を頂き、これらのことを行ってまいりました。ここからは私のお願いでもあるので協調させていただきとさせていただきます。

学生の困りごとは生活、学習面だけではないのです。本校にもこれだけの国籍の学生がおり、国による経済格差もありますし個人の格差も非常に大きいです。ここまでの支援は、どちらかというと緊急的な支援でありましたが、これからウィズコロナの時代に入りますので、経済的安心が当然基本となりますが、教育機関としてはやはりもう1段、2段上の欲求を叶えてあげたいと考えています。

日本人同士でも同じことが言えるかもしれませんが、コロナ禍で人と人との関わりが薄れたと言われていています。外国に暮らす彼らにしてみれば、外国の社会との接点はもっと関わりにくくなったと思います。留学するということは言葉を学ぶだけでも、スキルを身につけて就職するだけでもないと思っています。

YMCAとしても関わりのあるボランティア団体や支援して下さる皆様になるべく留学生が社会の一員として日本で生活し、その意識を持てる場の提供をお願いしているところですが、やはりこれからは、「もの」もさることながら「こと」に重点を置きたいと願っています。

これらのことを含めて、私からは以下のことがお願いできればと思っています。

- ①日本社会との接点づくりのきっかけ
(交流イベントの継続、ボランティア機会の提供など)
- ②海外人材を探している企業様のご紹介
- ③ご寄付(食料品や金銭)

是非とも、事情をお知りおき頂き、ご協力いただければ幸いです。
ご清聴ありがとうございました。

… 八代南 RC と八尾市立竹淵小学校との花育交流会 …
2022年5月21日(土)

青少年奉仕委員長 洪 理恵

青少年奉仕委員会の洪です。

5月21日(土)に八尾市立竹淵(たごち)小学校で花植えが実施され、八代南 RC4名とインターアクト7名、船場 RC8名の参加でした。

この事業は、八代南 RC との共同奉仕事業で『子ども達の心に花をさかそう』をスローガンに花や緑を育てることで優しさや美しさを感じ情操面の向上と癒しをもたらす効果を期待した『花育』です。

インターアクトの皆さんが児童たちに花植をサポートしている姿が実に微笑ましく、竹淵小学校の校長先生や保護者の皆さまにも大変喜んでいただけました。

昼食は大阪名物お好み焼きを千房でいただき、道頓堀ではすこし観光をして夜はホテルリットで歓迎会を行い、充実した1日となりました。



・・・ 職場見学&懇親会 ・・・

2022年5月23日(月) (株)アドダイセン関西第一メールセンター& hotel it

去る5月23日(月)、職場見学として、大嶋捷正会員のご協力により、同会員が経営される(株)アド・ダイセンの関西第一メールセンターを見学いたしました。職場見学には総勢21名が参加し、3班に分かれて見学を開始しました。見学をさせて頂いて、工場のスケールの大きさ、コンピューターで制御・管理された各種機械とラインによる作業の見事さ、大型プリンターなどハード面にも驚くことばかりでしたが、各フロアで従業員の方に手寧にお辞儀を頂いたり、トイレをお借りした際にトイレ用スリッパがきちんと揃えて置かれており、従業員の方から「次に使用される人のことを考えて、スリッパはきちんと揃えるようにと教育されています」と説明いただくなど、従業員教育も徹底されていることが窺え、ソフト面でも感銘を受けました。各フロアの見学の後、再度、6階の大会議室において、(株)アド・ダイセンの事業内容や同メールセンター建設時のお話し(着工前に東日本大震災が発生し、耐震性を高めた建物に図面を変更したことなど)などの説明をいただきました。そして、その後、3月の卓話で大嶋会員から説明があった黄色いポストを見学し、全員で集合写真を撮りました。(紙面の都合上、工場内各フロアに設置された具体的な機械やライン等を詳らかに説明できないのが残念です。) 見学に参加した一同、皆さんそれぞれに得るところが大きかったものと思います。

職場見学を終え、大型バスは、懇親会のため、藤井会員が役員をされておられる東ビルエントープライズ(株)が経営されるホテル「it」に向かいました。総勢22名で懇親会を開催いたしました。懇親会では、藤井会員のご厚意により豪華食材を使った大変美味しいコース料理(水牛モッツアレラチーズなどのオードブル、アワビのリゾット、ウニのクリームパスタ、なにく黒牛の肉料理など)をご提供いただき、皆さま、ご堪能いただけたと思います。また、2年振りの職場見学とその後の懇親会とあって、和気あいあいと会話も弾んでおられました。あっという間に2時間が過ぎ、最後は、中村副会長の締めのご挨拶により閉会となりました。比較的状況は落ち着いているとはいえ、コロナ禍の下で実行することに悩みはありましたが、散会となり笑顔で帰って行かれる皆さんを拝見し、実行して良かったと思いました。大嶋様、藤井様の多大なご協力とご厚意のおかげをもちまして無事に終えることができ、この場をお借りして感謝申し上げ、ご報告とさせていただきます。

職業奉仕委員長 山川 良知



★6月例会予定★

| 日 | | 司会 | プログラム | 歌 | その他 |
|----|-----------------------------------|----|----------|-------------------|--|
| 6 | ロータリー親睦活動月間 国際大会(6/4~6/8) | 中井 | 卓話:岡野会員 | 「君が代」 「四つのテスト」 | お誕生日お祝い 新旧合同理事会 31階「カトリア」13:40~14:40 |
| 13 | 6/10 研修会 (サンホワイト) 6/23YMCA 交流会 | 中井 | 卓話:片岡会員 | 「それでこそロータリー」 | クラブ協議会(活動報告) 31階「カトリア」13:40~15:40 |
| 20 | | 洪 | 卓話:会長・幹事 | 「我等の生業」 | 撞木引継ぎ 臨時総会 |